

事例検討会

～多様な専門職者との協働による高度実践看護～

超高齢社会において、複雑な健康課題や生活課題を併せ持つ人々が増加しており、急性期から在宅まで連続した療養を支えるため高度実践看護師（以下APN）を中心とした多職種協働が求められています。

事例検討会では、3名のAPNによる協働事例の共有、グループワークによる役割・協働の実際の検討を通して、明日からの看護実践に活かせる視点を得ることを目的とします。

(事例検討会参加者に参加証を発行いたします)

日時 2026年3月20日（金・祝） 13:00～16:00

場所 ビジョンセンター東京駅前 7階705会議室
(東京都中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル)

事例提供

1. 超急性期、家族システムをデザインする
—多職種シナジーへと変革させる「家族看護」の役割の発展—
日本医科大学付属病院 家族支援専門看護師 鈴木 雅智さん
2. 「APNとしての診療看護師（NP）の独自性」
：臨床推論×一貫性×ガバナンスで捉える周術期実践」
日本医科大学千葉北総病院 診療看護師(NP) 若狭 竜太さん
3. 「多職種連携」と「患児の最善」
—地域連携における合意形成のプロセスとCNSの倫理的葛藤—
順天堂大学保健看護学部 在宅看護専門看護師 村瀬 夢帆さん

対象 本学会員

参加費 無料

参加申込 右記QRコードまた
(URL:https://jaapn.org/skill_up20260320/form.php)



2/8～申し込み開始

3/8 申し込み〆切

先着50名 事前申込

アクセス ・JR各線「東京駅 八重洲北口」 徒歩4分
(八重洲地下街16番出口 徒歩2分)
・東京メトロ 銀座線・東西線、都営地下鉄
「日本橋駅 (B3出口)」 徒歩1分



【お問い合わせ先】日本高度実践看護学会事務局 (jimu@jaapn.org)

- 教育・研修委員会委員 事例検討担当
北村幸恵、行田菜穂美、小泉雅子、齋藤多恵子、新改法子、鈴木雅智
千田千春、笠間秀一、米田昭子